

2019年度 自己評価書（届出用）

2020年3月9日

学校法人藤学園 旭川藤幼稚園

1 本年度の重点目標

(教育方針)

「ひとりひとりの 咲くべき花を 咲かせよう
～ うつくしく やさしく しなやかに ～」

- ① キリスト教の人間観に基づいて、一人ひとりの子どもをかけがえのない存在として大切に育て、人格形成期における幼児教育に、モンテッソーリ教育法を取り入れ自主的・総合的に取り組めるように教育環境の充実に努めます。
- ② 自分の行動に責任を持つ力、思いやり、感謝の心、美しさを感じる心、許す心、困難や失敗を恐れず意欲的に最後まで取り組む力を培い、可能性を開花し、調和のとれた人として成長するように、教職員の教育力の向上と豊かな教育内容に取り組みます。
- ③ 「藤の会（保護者の会）」の積極的・活動的な支援と協力のもと、幼児期におけるふさわしい体験活動の充実によって、円満な社会観を育むことに努めます。

2 評価方法

評価方法は、目的達成状況などに応じ7段階とする。

- A → 十分達成されている。
- A⁻ → 概ね達成されたが、工夫や改善する必要がある。
- B⁺ → 若干上回って達成されている。
- B → 達成されている。
- B⁻ → 概ね達成されているが、工夫や改善する必要がある。
- C → 取り組まれているが、成果が十分でない。
- D → 取り組みが不十分である。

3 自己評価結果

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	実施状況と改善方策
教育課程・指導	<p>1 建学の精神であるキリスト教や教育目標・方針について、教職員と定期的な話し合いなどを通じて理解を深めている。</p> <p>2 幼稚園教育要領を理解し、園児の特性に応じ、又、主体的な活動を尊重するとともに遊びを通して総合的な指導を行うなど、発達状況に即した指導を行っている。</p> <p>3 年間の行事予定や指導計画などは、教職員と協力し、工夫を凝らし策定している。</p>	A	<p>建学の精神に基づいた教育目標・指導計画を作成するときは、職員会議、学年主任会議、ミーティングなどで理解を深めた上で策定するように努めています。年度初め、保護者に年間行事予定表を配布し、誕生会、運動会、降誕祭などへの参加を呼び掛けました。特に、「藤まつり」では、藤の会（保護者の会）との共催で作品展を通じ地域の方々とのふれあい交流ができました。</p> <p>幼児一人ひとりの個性や特性を尊重し、特に重点として、入園した三歳児から卒園期までのカリキュラムを策定し、総合的な教育活動に取り組みました。雄大な自然界の四季折々の体験活動によって幼児期における健康、人間関係、環境、言語、表現の分野ごとにその発達状況を確認する教育を実践しています。</p>

			「モンテッソーリ教育法」を取り入れ個別的、自発的に知的好奇心を持って取り組む環境に配慮するとともに、職員が経験と改善を重ねていることによって教育効果が表れていると感じています。今後とも、この教育法の充実を図るため、教材・教具など教育環境の充実を図りたいと考えています。
保健管理	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校保健計画を作成し、家庭や保健・医療機関と連携のうえ実施している。 2 日常の健康観察や疾病予防の取組みのほか、健康診断を定期的に行っている。 	A	<p>保護者や医療機関と連絡を取りながら保健計画を作成し、健康診断などを実施しました。</p> <p>なお、風邪やインフルエンザなどの予防のため手洗いやうがいを行行し、拡散防止に努めました。</p> <p>今後も保護者や医療機関などと連携し、園児の健康管理と疾病予防対策に配慮していきたいと思っています。</p>
安全管理	<ol style="list-style-type: none"> 1 安全計画や防災計画を策定し、定期的に避難訓練などを実施し、安全対応能力の向上を図っている。 2 危機管理マニュアルを作成し、教職員が消防機器の安全点検や避難経路確保などを行っている。 	A-	<p>危機に対する対応については、万一の事態に備え、定期的な避難訓練のほか教職員による避難路の確保や消火器の点検と配置場所の確認など安全確保に努めています。</p> <p>なお、交通事故の防止については、安全路の確保のほか安全運転の徹底など運転職員の意識の高揚についても日頃から注意を喚起しています。</p> <p>今後は、事故や事件に巻き込まれないよう、教職員の危機管理に対する意識を高め、又保護者の協力を得ながらその防止に努めていきたいと思っています。</p>
特別支援教育	<p>家庭と連携を図るとともに園内支援体制の下、園児ごとの指導計画を作成している。</p>	A-	<p>園児一人ひとりに健康状態などをしっかり把握し、保護者の理解や教職員全員による共通認識のもと指導計画に沿って教育活動を実施しています。</p> <p>これからも保護者や関係者と連携し、園児一人ひとりの個性や自立心などを尊重しながら保育にあたっていきたいと思っています。</p>
組織運営	<ol style="list-style-type: none"> 1 クラス担任や主任を配置するなどし、教職員相互の連携協力の下、園の適正・円滑な運営に努めている。 2 園児等の個人情報の取扱いと管理については、適正に行っており、また、保育に関わる公文書についても適切に管理している。 3 教職員の勤務時間やサービスなどについては、就業規則の定めに沿って適正に対処している。 	A-	<p>園の教育方針のもと、教職員が適時職員会議やミーティングなどを重ね、コミュニケーションを十分図りながら教育活動をしています。</p> <p>また、保護者の理解と協力を得て、教職員と連携を図り、円滑な運営に努めています。又、ICT 活用を今後していくための準備をすすめました。</p> <p>個人情報の取扱いについては、細心の注意を払い取扱っています。</p> <p>なお、就業規則に関する法令等の遵守に</p>

			<p>については、教職員による定期的な話し合いなどを通じ適切な取扱いに努めており、これからもそのように対応していきたいと考えています。</p>
<p>研修 (資質向上の取組)</p>	<p>園内外における研修については、教職員が積極的に参加し、能力・資質の向上に努められるよう環境を整えている。</p>	<p>A-</p>	<p>教師一人ひとりがプロ意識を持ち、責任感をしっかりと自覚するとともに保育の質の向上を図ることが重要であり、このことが保護者からの信頼に応える大切なことと考えています。</p> <p>これからも聖書の教えをしっかりと継続して研鑽するとともに研修会への参加など資質の向上のための環境作りと研修内容の共有に配慮していきたいと考えています。</p>
<p>教育目標・学校評価</p>	<p>1 教育目標を設定するとともに、全教職員による自己評価を実施し、次年度の教育活動の参考としている。</p> <p>2 園に対する保護者からの意見・要望については、適時実施し、可能なものから順次取り入れるなどしている。</p>	<p>A</p>	<p>全教職員による自己評価については、毎年年度末を目途に実施し、学園のホームページで公表しています。</p> <p>特に当園としては、「学校関係者評価委員会」を設置し、自己評価について評価委員から評価をいただいております。</p> <p>また、「保護者アンケート」を実施するなど取り組んでおり、いただいたご意見やご要望などを参考に、今後の保育活動や円滑な運営に反映させていきたいと考えています。</p>
<p>情報提供</p>	<p>1 園児等の個人情報については、適切、かつ慎重に取り扱っている。</p> <p>2 園だよりやホームページ、更には保護者との懇談などの機会を活用し、教育活動などの情報提供に努めている。</p>	<p>A</p>	<p>個人情報については、大切なことと考えており、誤った取扱いがないように慎重に、また、十分配慮し対応しています。</p> <p>園児の活動状況や行事の内容をお知らせする園だよりを定期的に発行するほか、懇談会などの機会を利用して積極的に情報提供に努めており、これからは、その内容の一層の充実に努めたいと考えています。</p>
<p>保護者・地域住民との連携</p>	<p>1 PTAとの懇談やクラスごとの交流などを通じ、保護者と連携を図り、園の適正な運営に努めている。</p> <p>2 地域の文化や伝統に触れる機会を大切にしている。</p>	<p>A-</p>	<p>園における幼児一人一人の様子が保護者に伝わるよう、園だよりやお手紙などを利用してお知らせするよう努めています。</p> <p>また、運動会や降誕祭などの行事のほか冬祭りや音楽祭などへも積極的に参加し、地域の交流に努めるとともに保護者の参加も呼び掛けるなどしています。</p> <p>これからも同一敷地内の旭川藤星高校との交流や地域のイベントなどに参加するなどして地域や伝統とのふれあいを大切にしていきたいと考えています。</p>

子育て支援	<p>園児の心身の健康と発達の状況などについて、保護者と共通理解を得るように努めるとともに家庭や専門機関と連携を図り適切な指導を図っている。</p> <p>また、保護者の子育てへの不安、育児のニーズを理解しようと努めている。</p>	A-	<p>園児一人ひとりの個性や特性を大切に、また、保護者と連携を図るとともに教育専門機関などとも情報交換しながら保育の充実に努めていきたいと思ひます。</p> <p>なお、子育てに対する不安や質問に応え、随時面談をしたり、専門機関の指導などを受けて保護者に適切な情報を提供し、子どもの成長必要な対応に努めています。</p>
預かり保育	<p>保護者の実情やニーズに応じ、家庭と連携を図りながら実施している。</p>	A	<p>保護者一人ひとりの実情やニーズに適切に対応することが大切であると考えています。</p> <p>また、預かる子供の健康状態などをしっかり把握するとともに保護者と連携を図り必要な情報を共有していきたいと考えています。</p>
教育環境整備	<p>園児にとって安全でふさわしい施設・設備を整えるよう環境の整備に努力している。</p> <p>また、主体的な活動を促すとともに季節や周囲の自然などを生かした環境に配慮している。</p>	A-	<p>園児にとって何よりも安全な教育環境となるよう園庭管理、遊具の配置や点検などに努めています。</p> <p>また、運動会、音楽祭、降誕祭、冬祭り、卒園式典など教育理念や季節・地域とのふれあいなども十分配慮した行事を実施しています。</p> <p>このほか、動植物を育て、お世話することで自然に触れ、親しむ中で生命の大切さなどを感じられるよう配慮した教育活動を実施しており、今後ともこれらに配慮した取組みをしたいと考えています。</p>

4 総合評価

達成状況	計画に対する評価と課題に対する今後の改善方針など
A	<p>年度に定めた重点目標（教育方針）を、自己評価し、工夫と改善を図ってきました。</p> <p>教諭の平均経験年数が五年を超えたことから、知識や経験も豊かになり、教育内容の充実が図られてきていると考えています。</p> <p>また、小学校との連携、地域との交流、藤の会（父母の会）との協力体制、同学園の旭川藤星高等学校との連携・交流に取り組むとともに、市内複数の中学校の体験学習も受け入れました。</p> <p>このような取組みの結果、旭川藤幼稚園の幼児教育活動が地域に浸透しましたし、教育面にもその効果が幼児の成長した姿に表れてきたと感じています。</p> <p>当園における幼児教育の充実を効果的に進めるため、モンテッソーリ教具・教材の充実などその環境設定に工夫を凝らし、また、教職員の資質向上を図るため研修を積極的に重ねていきたいと考えております。</p>